



エイチ・ツー・オー リテイリング 株式会社
平成23年3月期 決算発表
補助資料

平成23年5月12日

連結

1. 連結決算の概要	1
2. セグメント別業績と主な子会社の状況	1
3. 設備投資の状況	2
4. 連結貸借対照表の主な増減とその理由	3
5. 有利子負債の状況	3
6. 販売費及び一般管理費の主な内訳	4
7. 特別損益の内訳	4
8. 従業員の状況	4

百貨店事業

1. (株)阪急阪神百貨店の業績	5
2. 店別売上高	5
3. 商品別売上高	6
4. 販売区分別売上高	6
5. 月別売上高前年比の推移	6
6. その他の項目	7

連 結

1. 連結決算の概要

(単位:百万円)

	平成22年度実績				平成23年度予想			
	上半期	下半期	通期	前期比	上半期	下半期	通期	前期比
売上高	221,503	243,530	465,033	98.9%	236,600	260,400	497,000	106.9%
営業利益	4,758	5,796	10,555	131.5%	1,400	4,800	6,200	58.7%
経常利益	5,305	5,905	11,210	116.7%	2,000	5,100	7,100	63.3%
当期純利益	2,517	592	3,109	103.1%	△2,300	2,700	400	12.9%
減価償却費	4,657	5,164	9,821	94.5%	6,536	7,554	14,090	143.5%
金融収支	390	137	528	87.4%	382	46	428	81.1%
設備投資	6,800	27,547	34,348	82.8%	3,662	8,491	12,154	35.4%
売上高営業利益率	2.15%	2.38%	2.27%	+0.56	0.59%	1.84%	1.25%	△1.02
売上高経常利益率	2.40%	2.42%	2.41%	+0.37	0.85%	1.96%	1.43%	△0.98
1株当たり当期純利益(円)	12.20		15.07	+0.45	△11.15		1.94	△13.13

2. セグメント別業績と主な子会社の状況

(単位:百万円)

会社名	事業の内容	所有割合	平成22年度実績				平成23年度予想			
			売上高		営業利益		売上高		営業利益	
				前期比		前期増減		前期比		前期増減
㈱阪急阪神百貨店	百貨店業	100.0%	350,560	97.9%	8,730	+2,589	369,183	105.3%	3,800	△4,931
百貨店事業計			350,382	97.9%	8,228	+2,412	369,000	105.3%	3,300	△4,928
㈱阪食	スーパーマーケットの経営	100.0%	89,868	103.2%	1,701	+93	93,528	104.1%	1,749	+48
㈱阪急フーズ	食料品製造・販売業	100.0%	2,415	100.5%	175	+8	2,597	107.5%	180	+5
㈱阪急デリカ	食料品製造・販売業	100.0%	7,099	95.4%	192	+179	7,279	102.5%	200	+7
㈱阪急ペーカリー	食料品製造・販売業	100.0%	2,318	132.8%	36	+55	2,550	110.0%	50	+13
スーパーマーケット事業計			90,912	102.8%	1,737	+312	95,000	104.5%	1,792	+55
㈱阪急商業開発	商業不動産賃貸業	100.0%	4,703	92.0%	236	△126	4,832	102.8%	812	+576
㈱大井開発	中間持株会社	100.0%	435	45.2%	127	△575	2,513	577.6%	338	+210
㈱アワーズイン阪急	ビジネスホテル業	100.0%	1,791	93.2%	306	△136	-	-	-	△306
㈱ハートダイニング	飲食店業	100.0%	3,460	90.3%	43	+40	3,787	109.5%	70	+27
PM事業計(注)			13,488	104.7%	624	△128	13,900	103.1%	1,235	+610
㈱阪急キッチンエール	食料品等の個別宅配業	100.0%	5,298	79.5%	38	△32	-	-	-	△38
㈱阪急キッチンエール関西	食料品等の個別宅配業	100.0%	1,686	-	12	-	7,400	438.9%	57	+45
㈱阪急デザインシステムズ	デザイン製作業	100.0%	2,921	110.6%	112	+50	3,000	102.7%	120	+8
㈱阪急メンテナンスサービス	ビルメンテナンス業	100.0%	2,174	98.9%	60	+29	2,369	109.0%	16	△44
その他事業計(注)			10,250	92.2%	1,770	△256	19,100	186.3%	667	△1,103
連結計			465,033	98.9%	10,555	+2,531	497,000	106.9%	6,200	△4,355

※主な子会社についてのみ記載しているため、各社の数値の合計はセグメント別の合計と一致しません。

(注) ㈱阪急製作所、㈱ハートダイニング、㈱エヌ・ティ・イー、㈱阪急アイウェアは平成22年4月1日付でその他事業からPM事業へセグメントを変更しております。なお、平成22年度実績の前期比、前期増減については平成21年度実績を新セグメントに組替えて比較しております。

㈱阪急キッチンエール関西は平成23年1月4日付で設立され、㈱阪急キッチンエールより事業を承継しております。

㈱大井開発は、平成23年4月1日付で㈱アワーズイン阪急を吸収合併し、㈱アワーズイン阪急は解散いたしました。

3. 設備投資の状況

(単位:百万円)

	平成22年度実績		平成23年度予想	
	金額	前期増減	金額	前期増減
(株)阪急阪神百貨店	19,463	△ 11,054	4,297	△ 15,165
百貨店事業 計	19,463	△ 11,054	4,297	△ 15,165
(株)阪食	1,561	△ 901	2,244	+682
(株)阪急フーズ	11	△ 18	21	+10
(株)阪急デリカ	28	△ 1	40	+11
(株)阪急ベーカリー	14	△ 391	15	+0
スーパーマーケット事業 計	1,649	△ 1,290	2,366	+716
(株)阪急商業開発	324	+181	748	+424
(株)大井開発	9,018	+6,020	1,757	△ 7,260
(株)アワーズイン阪急	301	+295	—	△ 301
(株)ハートダイニング	14	△ 27	21	+7
PM事業 計(注)	9,782	+6,519	2,553	△ 7,229
(株)阪急キッチンエール	373	+279	—	△ 373
(株)阪急キッチンエール関西	107	—	47	△ 60
(株)阪急デザインシステムズ	13	△ 8	60	+46
(株)阪急メンテナンスサービス	2	△ 0	12	+10
エイチ・ツー・オー リテイリング(株)	2,839	△ 1,716	2,637	△ 201
その他事業 計(注)	3,452	△ 1,298	2,936	△ 516
合計	34,348	△ 7,124	12,154	△ 22,193

※総額及びセグメント別の合計は、単純合算によるものです。

※主要な子会社についてのみ記載しているため、各社の数値の合計はセグメント別の合計と一致しません。

(注) (株)阪急製作所、(株)ハートダイニング、(株)エヌ・ティ・イー、(株)阪急アイウェアは平成22年4月1日付でその
他事業からPM事業へセグメントを変更しております。なお、平成22年度実績の前期増減については平成
21年度実績を新セグメントに組替えて比較しております。

(株)阪急キッチンエール関西は平成23年1月4日付で設立され、(株)阪急キッチンエールより事業を承継し
ております。

(株)大井開発は、平成23年4月1日付で(株)アワーズイン 阪急を吸収合併し、(株)アワーズイン 阪急は解散い
たしました。

4. 連結貸借対照表の主な増減とその理由

(単位:百万円)

科 目	当期末	前期末	増減	主な増減理由
(資産の部)	344,187	344,699	△ 512	
流動資産	86,332	88,635	△ 2,303	
固定資産	257,855	256,063	+1,791	
建物及び構築物	65,011	46,313	+18,697	博多阪急、阪急大井町ガーデナー一期開業による増加他
投資有価証券	55,173	70,797	△ 15,624	時価評価差額の減少
(負債の部)	192,750	185,133	+7,616	
流動負債	118,390	82,621	+35,769	
1年内償還予定の社債	20,000	—	+20,000	社債償還1年以内のため長期より振替
未払金	18,933	7,472	+11,460	設備投資費用未払額の増加他
固定負債	74,359	102,511	△ 28,152	
社債	—	20,000	△ 20,000	社債償還1年以内のため短期へ振替
繰延税金負債	7,495	13,252	△ 5,756	時価評価差額の減少(法人税相当額)他
(純資産の部)	151,437	159,566	△ 8,128	
利益剰余金	96,574	96,044	+530	当期純利益+3,109、剰余金の配当△2,578
その他有価証券評価差額金	379	8,932	△ 8,552	時価評価差額の減少(法人税相当額控除後)

5. 有利子負債の状況

(1) 有利子負債の推移

(単位:百万円)

科 目	当期末	前期末	増減
有利子負債合計	60,755	60,921	△ 166
1年内償還予定の社債	20,000	—	+20,000
1年内返済予定の長期借入金	166	166	—
社債	—	20,000	△ 20,000
長期借入金	40,589	40,755	△ 166

(2) 社債の明細

(単位:百万円)

会社名	銘 柄	当期末	前期末	発行年月日	償還期限
エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社	2011年満期円貨建転換 社債型新株予約権付社債	20,000	20,000	平成16年 8月16日	平成23年 8月16日

6. 販売費及び一般管理費の主な内訳

(単位:百万円)

科 目	当期	前期	対比	売上構成比		販管費構成比	
					増減		増減
販売費及び一般管理費	118,602	123,344	96.2%	25.50%	△ 0.72	100.00%	—
人件費(報酬・通勤交通費含む)	47,924	51,255	93.5%	10.31%	△ 0.59	40.41%	△ 1.15
賃借料	21,142	22,013	96.0%	4.55%	△ 0.13	17.83%	△ 0.02
宣伝装飾費	6,382	6,367	100.2%	1.37%	+0.02	5.38%	+0.22
減価償却費	9,599	10,153	94.5%	2.06%	△ 0.09	8.09%	△ 0.14
委託作業費	6,467	6,694	96.6%	1.39%	△ 0.03	5.45%	+0.03
販売手数料	4,024	3,856	104.4%	0.87%	+0.05	3.39%	+0.27
運搬費	5,159	5,101	101.1%	1.11%	+0.02	4.35%	+0.21
その他	17,901	17,903	100.0%	3.85%	+0.04	15.09%	+0.58

7. 特別損益の内訳

(単位:百万円)

	当期	備 考
特別利益	779	
資産除去債務戻入益	402	四条河原町阪急資産除去債務戻入益(阪急阪神百貨店)
移転補償金	240	阪急ファミリーストア淡路店収用に伴う移転補償金(エイチ・ツー・オー リテイリング)
投資有価証券売却益	136	株式売却益(エイチ・ツー・オー リテイリング、阪急商業開発他)
特別損失	6,143	
店舗閉鎖損失	2,085	さんのみや・阪神食品館、阪神・御影2F(阪急阪神百貨店)
新店舗開業費用	1,684	博多阪急・阪急大井町ガーデン開業費用(阪急阪神百貨店他)
固定資産除却損	466	阪急ファミリーストア淡路店建替に伴うもの(エイチ・ツー・オー リテイリング)他
店舗建替関連損失	376	阪急大井町ガーデン二期建替関連損失見込額(大井開発)
環境対策費	304	PCB撤去費用(阪急阪神百貨店他)
減損損失	226	阪急オアシス伏見店他(阪食他)
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	174	阪急オアシス箕面店他(阪食他)
投資有価証券評価損	147	株式時価下落に伴うもの(阪食他)
その他	678	

8. 従業員の状況

(単位:人)

	当期末		前期末	
百貨店事業	3,447	(1,730)	3,504	(1,772)
スーパーマーケット事業	1,016	(3,745)	1,017	(3,542)
PM事業(注)	185	(667)	211	(612)
その他事業(注)	610	(1,130)	635	(1,010)
合 計	5,258	(7,272)	5,367	(6,936)

※従業員数は期末就業人員数(他社への出向者を除き、受入出向者・執行役員を含む)

※()内は、臨時従業員の期中平均人数

(注) (株)阪急製作所、(株)ハートダイニング、(株)エヌ・ティ・イー、(株)阪急アイウェアは平成22年4月1日付でその他事業からPM事業へセグメントを変更しております。なお、前期末の従業員数については新セグメントに組替えて記載しております。

百貨店事業

1. (株)阪急阪神百貨店の業績

(単位:百万円)

	平成22年度実績	
	金額	前期比
売上高	348,969	97.9%
売上総利益	86,920	96.6%
その他の営業収入	1,590	92.9%
営業総利益	88,511	96.5%
販売費及び一般管理費	79,780	93.2%
営業利益	8,730	142.2%

平成23年度予想	
金額	前期比
367,400	105.3%
90,453	104.1%
1,783	112.1%
92,236	104.2%
88,435	110.8%
3,800	43.5%

2. 店別売上高

(単位:百万円)

	平成22年度実績	
	金額	前期比
阪急うめだ本店(注)1	131,087	91.0%
千里阪急	17,317	100.4%
堺北花田阪急	10,165	99.4%
川西阪急	18,458	99.0%
宝塚阪急	9,167	98.6%
西宮阪急	21,763	113.4%
神戸阪急	9,143	92.2%
三田阪急	1,437	99.9%
四条河原町阪急(注)2	2,288	50.0%
博多阪急(注)3	4,289	-
有楽町阪急	8,462	85.6%
阪急百貨店 大井食品館(注)4	386	-
都筑阪急	7,991	95.8%
阪神梅田本店	96,045	104.2%
あまがさき阪神(注)5	3,633	180.1%
阪神・にしのみや	4,660	98.4%
阪神・御影(注)6	1,353	75.7%
店舗事業計	347,651	98.0%
広域事業	1,317	78.7%
合計	348,969	97.9%

平成23年度予想	
金額	前期比
120,200	91.7%
17,100	98.7%
10,000	98.4%
17,900	97.0%
8,910	97.2%
22,400	102.9%
8,320	91.0%
1,380	96.0%
-	-
38,000	885.8%
9,400	111.1%
6,000	1553.5%
7,600	95.1%
91,200	95.0%
3,570	98.3%
4,570	98.1%
850	62.8%
367,400	105.7%
-	-
367,400	105.3%

(注)1 イングス館、メンズ館を含む

(注)2 平成22年8月22日閉店

(注)3 平成23年3月3日開店

(注)4 平成23年3月16日開店

(注)5 平成21年10月20日開店

(注)6 平成21年8月5日より㈱阪食が運営する阪急オアシスを食品売場に導入し、それに伴う売上高は、スーパーマーケット事業に計上されております。

(注)7 さんのみや・阪神食品館は平成22年4月1日より休業、平成22年12月31日閉店

3. 商品別売上高

(単位:百万円)

	売 上 高			粗利益率		
		前期比	構成比	構成比増減	増 減	
紳士服・洋品	26,134	99.6%	7.5%	+0.2	31.22%	△0.15
婦人服・洋品	68,040	95.0%	19.5%	△0.6	29.86%	△0.64
子供服・洋品	12,115	99.8%	3.5%	+0.1	25.38%	△0.30
呉服・寝具その他の衣料	14,070	94.8%	4.0%	△0.2	30.68%	+0.04
衣料品計	120,362	96.4%	34.5%	△0.5	29.80%	△0.43
身の回り品	49,710	100.0%	14.2%	+0.2	27.38%	△0.78
家具	2,170	82.3%	0.6%	△0.2	20.68%	△0.89
家電	565	113.9%	0.2%	+0.1	19.06%	+3.16
家庭用品	10,287	98.8%	2.9%	+0.0	26.05%	△0.55
家庭用品計	13,023	96.1%	3.7%	△0.1	24.85%	△0.38
生鮮食品	24,861	97.4%	7.1%	△0.1	18.93%	△0.27
菓子	36,910	102.5%	10.6%	+0.5	16.96%	△0.06
惣菜	31,695	101.9%	9.1%	+0.4	18.62%	△0.16
その他食料品	20,611	95.5%	5.9%	△0.1	24.51%	+0.56
食料品計	114,078	99.9%	32.7%	+0.7	19.22%	△0.08
食堂・喫茶	8,002	97.4%	2.3%	+0.0	17.45%	△0.07
化粧品	22,654	100.2%	6.5%	+0.2	27.59%	△0.29
美術・宝石・貴金属	8,806	99.0%	2.5%	+0.0	21.81%	△0.48
その他雑貨	7,957	84.4%	2.3%	△0.4	22.28%	+1.37
雑貨計	39,418	96.3%	11.3%	△0.2	25.23%	+0.17
サービス	2,778	85.5%	0.8%	△0.1	23.55%	+0.41
その他	1,594	92.9%	0.5%	+0.0	18.19%	△1.40
合 計	348,969	97.9%	100.0%	-	24.91%	△0.34

4. 販売区分別売上高

(単位:百万円)

	売 上 高			
		前期比	構成比	構成比増減
現金・券類	121,076	94.3%	34.7%	△1.3
カード	213,396	100.5%	61.2%	+1.6
(自社カード)	159,600	102.0%	45.7%	+1.8
(他社カード)	53,796	96.4%	15.4%	△0.2
その他(注)	14,496	91.7%	4.2%	△0.3
合 計	348,969	97.9%	100.0%	-

(注) 外商受注(掛売)等

5. 月別売上高前年比の推移

(%)

全 店	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期		
		93.0	96.1	83.4	103.9	97.8	94.4	94.9	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期		
	96.6	99.9	99.7	99.2	99.2	110.4	100.8		
							通期	97.9	

(注) 従来、受注時に計上していたお中元ギフトの売上は、平成22年度より出荷時点での売上計上に変更しております。

なお、本年、前年ともに従来の基準(受注時計上)により売上高を比較した場合の前年同月比は、6月は92.4%、

7月は95.9%となります。

6. その他の項目

(1) 従業員の状況

人数	平均年齢	平均勤続年数
3,447 (1,730) 人	41.8 才	21.0 年

※従業員数は期末就業人員数(他社への出向者を除き、受入出向者・執行役員を含む)

※()内は、臨時従業員の期中平均人数

(2) 単位当たり売上高

(単位:千円)

	当期	備考
1人当たり売上高	69,007	売上高÷期中平均従業員数(期中平均臨時従業員含む)
1㎡当たり売上高	1,312	売上高÷期中平均営業面積

(3) 店別営業面積、営業日数と入店客数

	営業面積(㎡)	営業日数(増減)	入店客数(千人)	前期比
阪急うめだ本店(注)1	50,114	364 (+3)	37,689	91.2%
千里阪急	13,803	364 (±0)	6,114	100.3%
堺 北花田阪急	16,000	365 (±0)	7,402	99.4%
川西阪急	15,528	364 (±0)	5,722	98.9%
宝塚阪急	7,191	364 (±0)	(注)2 -	-
西宮阪急	25,000	365 (±0)	12,836	106.7%
神戸阪急	33,278	365 (±0)	2,882	99.0%
三田阪急	2,143	364 (±0)	(注)2 -	-
四条河原町阪急(注)3	-	144 (-220)	1,624	47.1%
博多阪急(注)4	41,835	29 (-)	4,549	-
有楽町阪急	11,445	364 (±0)	3,091	79.3%
阪急百貨店 大井食品館(注)5	2,042	16 (-)	419	-
都筑阪急	16,352	364 (±0)	5,283	95.9%
阪神梅田本店	53,395	364 (±0)	45,594	101.2%
あまがさき阪神(注)6	5,329	364 (+196)	(注)2 -	-
阪神・にしのみや	4,998	364 (±0)	4,361	98.9%
阪神・御影	3,726	363 (±0)	5,471	121.4%
合計	302,178		143,046	100.4%

※面積は当期末時点

(注)1 イングス館、メンズ館を含む

(注)2 入店客数計測器を設置していないため

(注)3 平成22年8月22日閉店

(注)4 平成23年3月3日開店

(注)5 平成23年3月16日開店

(注)6 平成21年10月20日開店

(注)7 さんのみや・阪神食品館は平成22年4月1日より休業、平成22年12月31日閉店